

MSⁿによる構造推定

技術の特徴

食総研の質量分析は...

- 多種の装置による比較検討が可能 → 試料に適した装置が選択できる
- 試料に含まれる多数の化合物の構造推定が可能
- 不完全精製OK
- 微量でOK



FT-ICRMS



MS/MS

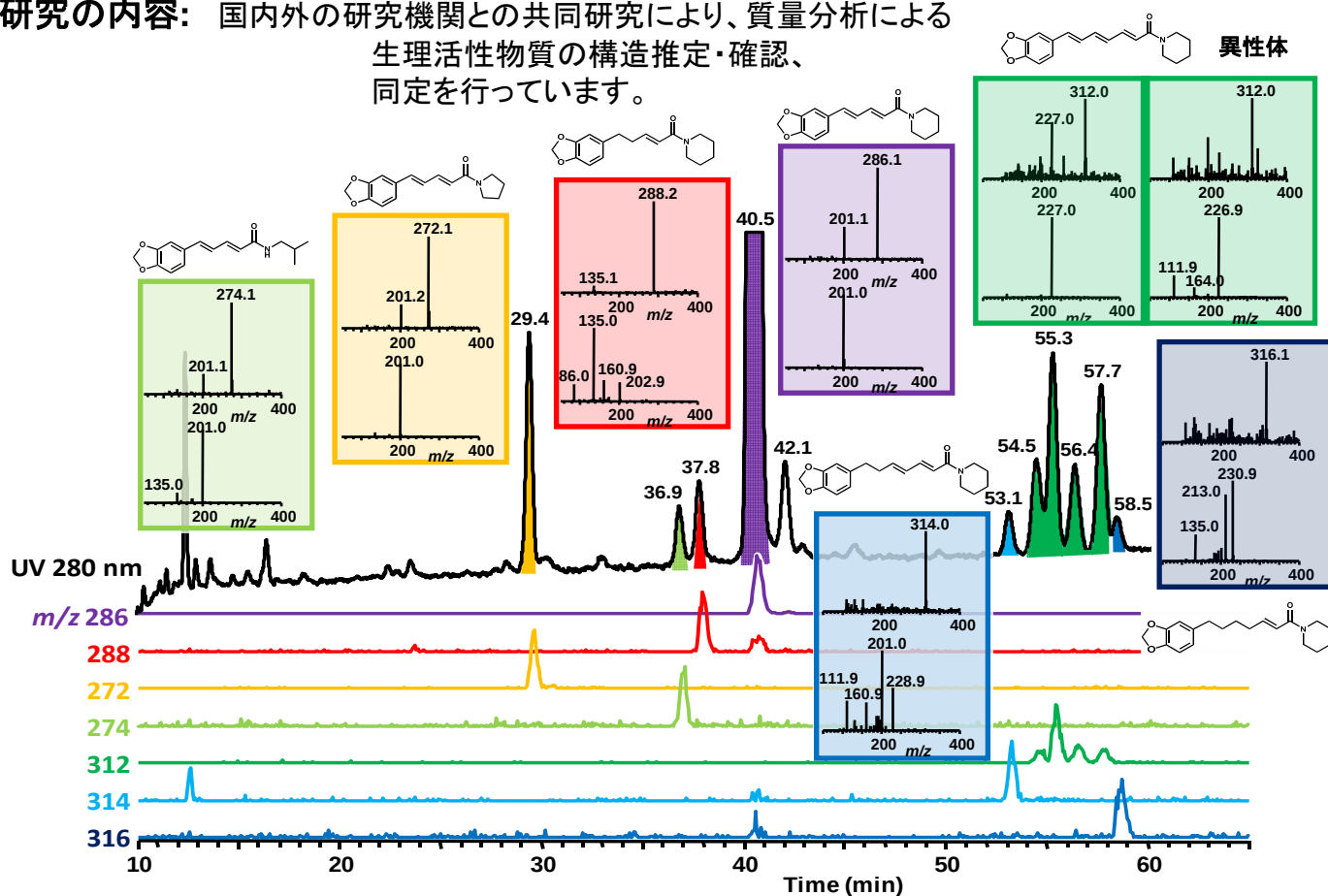


QIT MS



• 化学機器分析センターに設置の
NMRなどの機器分析装置による
データと照合しながら構造解析

研究の内容: 国内外の研究機関との共同研究により、質量分析による
生理活性物質の構造推定・確認、
同定を行っています。



参考: M. Friedman et. al., *J. Agric. Food Chem.*, 56, 3028-3036 (2008).
N. Kozukue et. al., *J. Agric. Food Chem.*, 55, 7131-7139 (2007).

本研究は、USDA、威徳
大学との共同研究として
実施しました。

今後の展開: 各種質量分析法による構造解析を、共同研究として承ります。



農研機構
食品総合研究所



代表研究者: 亀山真由美
所 属: 食品分析研究領域
成分解析ユニット